

## 「第4次秋田市地域福祉計画」重点事業の取組について

### 「重点事業1 包括的支援体制の整備」の取組

#### 1 令和5年度までの目標

地域住民が地域の課題や特性について考え、主体的に地域福祉に関わることを促しながら、複合化・複雑化した課題や制度の狭間に位置する課題を抱える人への必要なサービスや支援の適切な提供ができるような包括的な支援体制の整備を図る。

#### 2 事業計画

令和元年度	①関係機関に聞き取りし、連携の実態把握 ②関係機関の連携手法の検討
令和2年度～令和5年度	①関係機関の連携手法の検討（随時） ②検討を経た連携手法の順次実施

#### 3 令和2年度の主な取組内容

ひきこもりの人やその家族等に対して、相談員が相談に応じる訪問型の支援（アウトリーチ）を実施した。

また、本市における包括的支援体制の整備に関する取組指針（庁内の事務取扱ガイドライン）を策定するため、庁内関係機関に取組状況を聞き取りするとともに、福祉に関する相談窓口を集約するなど、複合化した課題、制度の狭間に位置する課題に対して、連携して取り組む体制の整備を進めた。

さらに、犯罪をした者等が仕事や住居がないなど様々な課題を抱えている状態から、再び社会を構成する一員となることを支援するため、各種施策を包括的に取りまとめた秋田市再犯防止推進計画を策定した。

#### 4 令和3年度の主な取組予定

令和2年度から作業を進めている、包括的支援体制の整備に関する取組指針を策定するとともに、福祉に関する相談窓口の一覧表を公開する。

また、令和2年度に改正した社会福祉法に基づく新たな事業である重層的支援体制整備事業※に関する調査研究を行う。

※重層的支援体制整備事業…市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的支援体制を構築するため、Ⅰ相談支援、Ⅱ参加支援、Ⅲ地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業

## 「重点事業 2 災害に備えた支え合いの地域づくり」の取組

### 1 令和 5 年度までの目標

災害時要援護者（自力での避難が困難な人）の避難支援体制の構築を図る。

### 2 事業計画

令和元年度～令和 2 年度	①各地域で説明会を開催 ②地域でのプラン作成者や支援者に聞き取りし、地域での避難支援体制づくりの実態把握
令和 3 年度～令和 5 年度	①「地域での避難支援体制づくりの手引き」の見直し（随時） ②プラン周知の広報活動の実施 ③地域での個別避難支援プラン作成支援

### 3 令和 2 年度の主な取組内容

災害時要援護者を支援するため、各市民サービスセンターと連携して地域での避難支援体制づくりに関する説明会を開催した。

また、個別避難計画（個別避難支援プラン）の課題などについて、計画作成者や支援者に聞き取りし、「地域での避難支援体制づくりの手引き」を見直した。

### 4 令和 3 年度の主な取組予定

引き続き、避難支援体制づくりの説明会等を開催するなど、個別避難計画作成を支援する。

また、令和 3 年度に改正した災害対策基本法に基づき、個別避難計画の作成が市町村に努力義務化されたことから、国の指針や他都市の状況を情報収集するなど、災害時に避難の支援が必要な高齢者や障がい者ら要支援者の個別避難計画策定に関して調査研究する。

### 【参考】個別避難計画（個別避難支援プラン）

自主避難が困難が高齢者や障がい者などのうち、希望者を避難支援対象者名簿に登録し、市から地域の町内会長や民生委員等に名簿を提供しており、その名簿を元に、一人ひとりの避難計画である個別避難支援プランの作成を地域に働きかけている。